

エレクトリックギターの種類

エレキギター

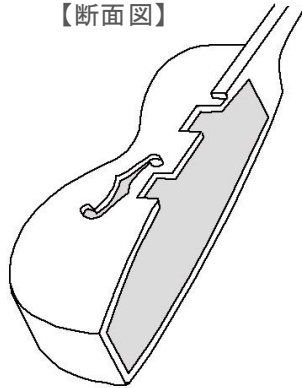
- EG(エレキギター)とは何か？
元々はアコースティックギターを電気回路で増幅して大音量で演奏できるようにしたギター。
- どうやって音を出すか？
ピックアップから集音、アンプで音を増幅して発音。
(アンプについての詳しい解説は後述)
- 2種類の構造
中空式のホロウボディ/ 板状構造のソリッドボディ

EGの構造

ホロウボディ

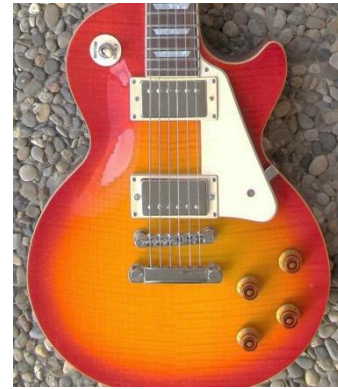


【断面図】

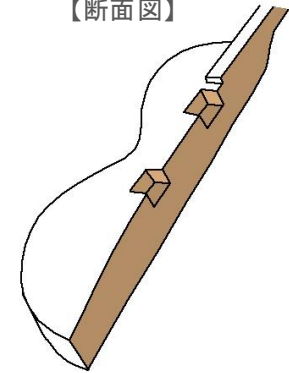


- 空洞状のボディ
- アコースティックな響き
- ハウリングに弱い
- フルアコ/セミアコがある
- ジャズ、フュージョン向き

ソリッドボディ



【断面図】



- 板状のボディ
- タイトな響き
- ハウリングに強い
- 量産するために開発された
- ロック、ポップス向き

ピックアップの種類

シングルコイル



- 磁石の周りに巻きつけられた単一のコイルで出来ている
- 歯切れよく、明るく透明感のある音
- ノイズに弱い(その為ハムバッカーが開発された)
- Fender 社テレキャスター、ストラトキャスターが有名

ハムバッカー



- 2本のシングルコイルを組み合わせ、ノイズの軽減と、音のパワーアップを実現
- ノイズに強く太くパワーのある音
- ハイパワーの為歪やすい → ロック向き
- Gibson 社のレスポールが有名

エレキギターの主なモデル

テレキャスター



- Fender社が開発。最初のソリッドギター「エスクワイヤ」を改良して作られた。
- 2つのシングルコイルPUを搭載、歯切れ良くアタックの速いサウンドが特徴。
- ロック、カントリーから昨今のJ-POPやアニソンまで、幅広く使われている。

ストラトキャスター



- Fender社がテレキャスターを改良、さらに大量生産しやすい構造で開発。
- センターも含めた3ピックアップ。
- トレモロユニット搭載、激しいビブラートをかけられる。
- ジミヘン、クラプトン、リッチーブラックモア～ジョンメイヤー、ジョンフルシアンテまで愛用者多く、どんなジャンルでも使える。

エレキギターの主なモデル

レスポール



- Gibson社が開発。2つのハムバッカーPUを搭載、サスティンに優れ、太くパワフルなサウンドが特徴。
- ジミーページ、スラッシュ等、ハードロック系のギタリストに愛用者が多いが、様々なジャンルで長く愛用されているモデル。

ES-335



- Gibson社が開発、フルアコのボディを薄くして、センターブロックという木材を内部に仕込み、ハウリングし難い構造になっている。
- ジャズ、フュージョンのみならず、ブルース～ロック系のギタリストにも幅広く受け入れられた。
- Room 335 という曲がある。

多弦ギターのバリエーション

7弦ギター



- 通常の6弦に1本太い(低い)弦を足してある。
- 6弦より**完全4度低いBが最低音**。
- ヘヴィメタルの変遷の中で、より重低音を出す為に使用が増えていった。
- コーン、リンプビズキッド等、ニューメタル世代のバンドでの使用が顕著。
- ドロップチューニングでさらに低い音を出すこともある。

12弦ギター



- アコギの12弦と、弦の構造は同じ。
- 初期ビートルズの「A Hard Days Night」「Ticket to Ride」といったヒット曲で使われた。
- スピッツ「空も飛べるはず」のイントロも印象的